

防除情報

長崎県病害虫防除所長

令和4年度病害虫発生予察 防除情報第8号

普通期水稻 穂吸汁性カメムシ類の防除対策について

普通期水稻における穂吸汁性カメムシ類の発生が平年よりやや多い発生となっており、今後の気象予報も本虫の発生に適していることから、下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況等

- (1) 8月後期の巡回調査(38筆)の結果、20回すくいとりあたり虫数は1.8頭(平年 0.9頭)、発生圃場率は50.0%(平年 29.9%)で、平年よりやや多かった(図1、2)。種別ではクモヘリカメムシが主体であり、一部の地域ではイネカメムシの寄生もみられた。
- (2) 気象予報(福岡管区气象台、令和4年8月25日発表)によると、向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

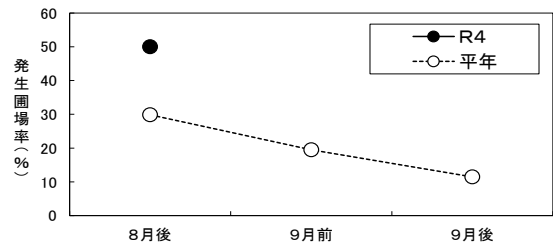
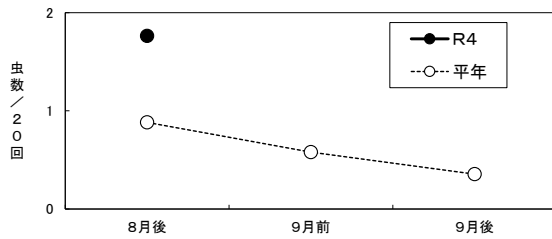


図1 穂吸汁性カメムシ類の20回すくいとりあたり虫数の推移

図2 穂吸汁性カメムシ類の発生圃場率の推移

2. 防除対策

- (1) 防除は穂揃期とその7～10日後の2回防除を基本とするが、発生が高密度の場合はさらに追加防除を実施する。
- (2) 水田への飛来が多くなる夕方に薬剤散布をおこなうと効果が高い。
- (3) 薬剤散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守するとともに周辺環境(ミツバチや水産動植物等)に配慮し、薬剤の飛散に十分注意する。

○6月から8月までの3か月間を「農薬危害防止運動月間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

(長崎県病害虫防除所) ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

(長崎県病害虫防除所) TEL：0957-26-0027

